

## 図書館利用者と館長との懇談会

- 1 日時 平成21年6月21日（日）
- 2 場所 平和台図書館 3階 視聴覚室
- 3 参加者 利用者8名  
区職員10名（光が丘図書館長・平和台図書館長・小竹図書館長・春日町図書館長・計画調整係長・計画調整係次席・事業係長・子供サービス係長・平和台図書館職員）
- 4 次第 （1）開会  
（2）光が丘図書館長あいさつ  
（3）区職員紹介  
（4）図書館概要説明（小竹・春日町・平和台図書館各館長）  
（5）懇談（フリートーキング）

## 図書館利用者と館長との懇談会 要録

### 1 光が丘図書館長あいさつ

練馬区には12館図書館がありますが、今日は平和台図書館に会場を設け、利用している方々にご意見やご要望を伺い、今後の館運営に活かしたいと考えております。懇談会は昨年度より開催し、5回目になります。昨年は練馬・石神井・大泉・春日町の各館で開催しました。3年間で全館実施する予定です。昨年度色々な宿題を頂いた中で、「区全体での図書館の考えも題材にしたい。」というご意見も頂いています。これについては、来年度光が丘で開催する時に取り上げたいと考えています。今年度は、平和台・関町・貫井・稲荷山の各館を予定しており、それぞれ開催館の話を中心に行います。懇談会の日程を早めに周知したいのですが、早い段階で職員の日程を調整したり、会場を確保するのが難しい状況です。今日は約2時間、各館の説明や皆様からのご意見をお伺いしたいと考えていますのでよろしくお願いします。なお、本日は都合により、障害者サービス係長が欠席しておりますので、ご承知おきください。

### 2 職員紹介

計画調整係長：今年の4月にできた新しい係で、電算システムの維持管理、指定管理者制度も含めた業務委託の管理、大規模改修その他計画に関することを担当しています。昨年度の懇談会で、「区内未所蔵資料もインターネットで予約したい」というご意見を頂きました。他の区市の状況を見て、運営方法も含めて検討していきたいです。

事業係長：事業係は全館の貸出や予約など運営面の調整・とりまとめを行っています。昨年度の懇談会で「カラーコピー機を置いて欲しい」というご要望があり、今年5月に開館した南田中と大規模改修が終わった大泉で設置しました。その他の館については、コピー機の更新時期に

合わせて徐々に入れ替えていきたいです。また、外国語の利用案内については、原稿が完成し、これから翻訳・印刷する段階です。

春日町図書館長：昨年 12 月の懇談会で利用者マナー、パンフレットスタンド、館内表示に関するご意見を頂きました。マナーの点については館職員が注意するようにしたいです。他の点については改善できるよう検討しています。

### 3 図書館概要説明

#### 【小竹図書館】

平成 2 年に開館、800 m<sup>2</sup>の小規模館で、蔵書数は約 82,000 冊（外国語図書 2,500 冊）、利用登録者数は 13,900 人、そのうち児童の登録は 3,000 人、貸出数は 30 万 6000 点です。近くに武蔵大・武蔵野音大・日大芸術学部がある文教地区で、夏休みなど長期休暇期間には児童より大学生が多く来館します。馬場のぼる氏が生前小竹町に在住されていたため、作品を寄贈してくださるなど開館時より協力していただき、馬場のぼるコーナーを設置しています。ここ数年の改善点としては、飲食コーナーの設置、空調設備の調整、書架の増設工事（約 2,000 冊分）、書架の転倒防止装置の一部設置などを行いました。昨年 4 月より窓口業務等は民間委託し、開館時間が延長されました。「閲覧席が少ない。」「新刊本が来るのが遅い、数も少ない。」など要望を頂いていますので、できる限り改善していきたいです。

#### 【春日町図書館】

開館して 13 年目、大江戸線春日町駅の複合施設の 2 階にあります。1 階が商業施設ですので、買い物のついでに図書館に来るという利用者が多いです。閲覧スペースはガラス窓に面しており明るいです。開館当初よりラウンジや会議室、区民の作品を展示するギャラリーを設置するなど、コミュニティ施設を兼ね備えています。今年の 3 月末現在で、蔵書数は 109,000 点、利用登録者数は約 13,000 人（団体は 35）、貸出数は約 53 万点です。

#### 【平和台図書館】

練馬区で 3 番目の図書館として、昭和 51 年 7 月 1 日に開館しました。建設にあたっては、区民参加の懇談会で設計が検討され、車椅子のまま本が選べるように書架間隔を広くとるなど、障害をもった方にも利用しやすいように配慮されました。また、読書席が多数あり、多くの方々に利用されています。当館の事業として、ブックスタートやお話会、乳幼児を対象とした「おひざのおはなしかい」、小中学校に出向いて実施している「ブックトーク」・「お話の会」など子供サービス事業と共に、視覚障害者を対象とした録音テープの貸出事業等の特徴的に実施しています。平成 19 年度からは、開館時間の延長と窓口業務等の委託を開始しました。また、一般書、児童書の展示コーナーを開設しました。昨年 3 月末現在、蔵書数は 14 万 1,000 点余り、新聞は 21 種類、雑誌は 162 種類、利用登録者数は約 19,000 人（団体は 146）、貸出数は約 46 万 4,000 点です。今年で開館 33 年になるため老朽化が進んできており、大規模改修が大きな課題

となっています。

「区民が誰でも気軽に利用でき、親しみのある図書館」を目指し、地域に密着した図書館となるよう努めています。

#### 4 懇談

利用者：各館の面積を教えてください。

平和台：敷地面積 1696.08 m<sup>2</sup>、建築面積 721.16 m<sup>2</sup>、建築延面積 2077.656 m<sup>2</sup>

春日町：敷地面積 975.19 m<sup>2</sup>、建築延面積 1709.14 m<sup>2</sup>

小竹：敷地面積 780.26 m<sup>2</sup>、建築面積 463.208 m<sup>2</sup>、建築延面積 794.262 m<sup>2</sup>

利用者：30年ほど毎日のように利用しています。昔は懇談会や文化講演会がありましたが、最近はありません。文化的講演会は必要だと思いますが、その点についてどのようにお考えか聞きたいです。

図書館：かつては講演会がたくさんあったということですが、現在、図書館では資料の貸出をはじめとして、各種の事業を展開しています。ご指摘頂いた講演会については、なるべく実施していけるように努めたいと思います。今日すぐに返答はできませんが、貴重な意見として伺っておきます。

利用者：予算の関係があるのでしょうか？

図書館：予算の面もあるが、例えば講師の面で、地元で活躍している講師を呼ぶという方法もあります。昨年、南田中の建設懇談会委員の中には、図書館や建築の専門家もいました。そういう方々に頼むことができれば、予算面もクリアできます。次年度、次々年度に準備を進めていきたいと思います。

利用者：講演会をやれば、当時は沢山の人が集まりました。ぜひ復活させて欲しいです。

利用者：平和台が30周年の時に薬袋先生を招いて、とても良い講演会ができました。区民と一緒に職員も講演を聞き、その後、平和台はレイアウト面がよくなったり、利用しやすい図書館になったので、是非やって欲しいです。また、平和台の雑誌の数が以前聞いた数より少ないですが、これも予算の関係からでしょうか。なるべく沢山の雑誌を置いて欲しいです。

利用者：建設懇談会以前、地区区民館など文化施設ができる前から、北町小学校の母親が集まり個人の自宅を開放してよみかかせをしていました。50人から80人の子どもが集まり、個人の家では無理になってきたので、図書館が欲しいと署名運動をしました。開館当時から、利用者と職員が一緒になって本を選んだり、利用者懇談会、お金のかからない講演会をやってきました。当時は安い講師料で、講師になってくれる人がいました。年々予算が減って、講演会や利用者懇談会もなくなり、様変わりしてしまいました。1年に1回でもいいので講演会をやりたいです。

図書館：今後の参考にさせていただきます。

利用者：ブックスタートが始まり、赤ちゃんと保護者がよく来館されるようになりました。薬袋先生の講演会以降、平和台は利用者のことを考えてレイアウトを変えました。例えば、

児童コーナーのテーマ展示は楽しいし、毎回私たちの参考になるような良い展示をしてくれています。子供にとっても本との新しい出会いがあると思います。南田中図書館に授乳室ができるなど、図書館全体が「赤ちゃんもどうぞ」という雰囲気になりました。

利用者：昔と比べて、本や雑誌を見る人が多くなりました。特に、週刊誌はいつも誰かが読んでいる状態なので、冊数を増やして欲しいです。

利用者：図書館は本を貸し出すのが中心でしたが、今後は地域住民に対して生活面・福祉面でサポートしていく情報センターとして、機能していかなければならないと思います。例えば、区の就職情報を端末で見られるようにしたり、福祉・生涯教育・医療・児童向けなど、各館で特色を持たせるべきです。浦安図書館や他の図書館では問題解決型の図書館に進化しているケースもあります。今後の図書館のあり方は、様変わりしていかなければならないということを頭において欲しいのです。もう一つ、大活字本についてですが、出版社は少なく、書店で売っていることを知らない人が多いので、図書館で充実させて欲しいと思います。

図書館：図書館が今後情報センターとして様変わりしていくというご意見を頂けるのはありがたいです。今後、課題解決型図書館として、どうしていくべきか、練馬区として検討していかなければならないと考えています。

図書館：大活字本については、障害者サービス係のカテゴリーですが、お年を召された方のご利用も考えられるので、予算等の制約がありますができるだけ充実させていきたいです。また、大活字本の存在を知らない人も多いので、周知する方法も考えていきたいと思います。

利用者：「課題解決型図書館」という話が出ましたが、平和台ではレイアウトを変更した際、レファレンスデスクを設置し、利用者としてとても心強かったです。最近は職員がいないことが多いです。これは他館での経験ですが、カウンターで聞いても「ありません」と言われることが多く、職員に出てきてもらうことになります。光が丘では委託のレファレンスコーナーに質問し、色々調べてもらっても分からないので、職員のレファレンスコーナーで同じことを繰り返し言わなければなりません。光が丘に限らず、解決するまでの時間がかかります。光が丘の2階の児童のレファレンスコーナーではとても丁寧に教えてもらえるし、ある時は、考えを膨らませ「こんな本も参考になりますよ。」と1階の資料も含めて案内してもらったことがあります。こちらの質問が漠然としている時は、なかなか見つからないこともあります。課題解決型図書館としてやっていくなら、その辺のことも考えて頂きたいです。

利用者：今日、上石神井から来たのは、使いやすい図書館にして欲しいと思って来ました。図書館には全集などが閉架書庫にある場合、書架に代本板が置いてあるが、本の内容が分からなければ請求できません。全集の目録だけでもコピーして代本板の横に置いて欲しいです。委託のスタッフに言っても「2階に伝えておきます。」と言うだけで、その後なんら変化がありません。もう少しきめ細かいサービスをして欲しいです。

図書館：代本板については、資料担当と相談して充実させます。また、本のタイトル・著者などを言うてくだされば、検索して本を見つけるので、気軽に声をかけていただきたいです。

利用者：レファレンスコーナーに基本的なものがありません。

図書館：未所蔵資料は、都立や他区の図書館から取り寄せて借りることも可能です。また、新たに購入することもあります。かなり専門的な本は、スペースの面からも区立図書館として無理だということを理解して頂きたいです。

利用者：関町図書館を利用しています。平和台には初めて来たが、道路に面していて大きな窓から中を窺うことができ、練馬区にはあまりないタイプだと思いました。貸出中心ではなく、図書館に行けば誰かに会える、何かがあるというようなコミュニティ施設の機能も必要です。平和台にはそういった可能性を持った広さがあります。練馬区の図書館は小さ過ぎます。関町は座席が少なく居場所がないので、予約本を受け取りに行ってもすぐに帰ってしまいます。建築が専門だが練馬区には専門の建築雑誌が貫井にしかないので、建築に関する本が見たい時は、武蔵野市の図書館に行きます。練馬区の図書館は、予算だけでなく、スペースの問題もあるのではないのでしょうか。平和台はスペース的に可能性があるので、是非いろんなことをやって欲しいです。

利用者：平和台は建設懇談会に主婦も参加したので、誰もが入りやすく障害者が利用しやすい施設を心掛けました。利用者の要望で読書席を増やすなど、色々と改善していつてもらったことに感謝しています。

利用者：平和台の利用者は増えているのではないのでしょうか。3階に和室があるが、最近の図書館では珍しいです。「ブックスタート」や「おひざのうえのおはなしかい」で利用されていますが、親子が来館するのを楽しみにしていますし、くつろげる空間になっているようです。それが平和台の特色にもなっています。改修する時は、そういう点にも配慮して計画していただきたいです。

利用者：前回、厚生労働省の元次官殺傷事件後に、職員録の閲覧制限を行ったことについて尋ねましたが、あれから検証はしたのでしょうか？

図書館：国会図書館で名簿を閲覧して住所を搜したということだったので、自宅住所が載っている資料は貸出禁止にはしませんが、閉架におろしました。元に戻すかどうか検討しましたが、現在も閉架におろしています。

利用者：犯人が捕まった後なので、模倣犯を警戒しての処置です。過剰に反応し過ぎではないのでしょうか。閉架におろすのは年内だと言っていたのにまだ継続しています。再度検証して、処置していただきたいです。

図書館：区立図書館として、どれを閉架にするか判断しています。

利用者：予約取り消し履歴の問題は解決しましたか。

利用者：稲荷山図書館のような特色のある図書館を作って欲しいです。牧野庭園や花と緑の相談所にも資料があるが少ないです。練馬区は、練馬大根が有名で子供の学習材料にもなっていますが、それに関する本がありません。「新版練馬大根」は誤植だらけだし、大人向

けか子供向けなのかも分かりません。執筆者の責任もはっきりしていません。特色ある図書館を作るなら、練馬大根を中心にした図書館があってもいいのではないのでしょうか。

利用者：練馬大根など専門的なことを調べるなら、大学の図書館に行けばいいと思います。区立図書館は一般大衆を対象にした図書館です。

利用者：選書をする時の参考になるよう、意見や要望を出せばよいと思います。

利用者：稲荷山は、学術雑誌など専門的な図書が揃った昆虫の専門図書館です。それと同じように練馬大根専門の図書館を作って欲しい訳ではありません。

利用者：南田中図書館の懇談会はいつですか？

図書館：貫井図書館で懇談会を行う時に、同席させる予定です。

利用者：学校支援を担当しているのは誰で、今後どういう方針でやっていくのかお聞きしたいです。

図書館：学校支援のモデル事業は、南田中図書館長・子供サービス係長・計画調整係長が、担当しています。

利用者：南田中図書館長は、他の館長と同列ですか？発言権は同じですか？

図書館：発言権ということではありませんが、指定管理者の中で、学校支援担当者が館長の指導の下で行っています。

利用者：館長が独自に事業をやろうとした時、どこまで自由な裁量があるのでしょうか？

利用者：南田中図書館でのモデル事業は、まだお話ができる状態ではないのでしょうか？

図書館：学校支援モデル事業という名前がついていますが、既に他館で学校支援を行っており、それをベースにして、より充実させていくための取り組みとして、モデル事業を位置づけています。

利用者：次回の懇談会では、現在行っている各館の学校支援の内容を教えて欲しいです。

図書館：資料をご用意させていただきます。

利用者：貸出期間は3週間ですが、2週間でよいと思います。本を回転させるためにもその方がよいです。

図書館：本日は長時間にわたり建設的なご意見を頂き、ありがとうございました。